

# The Ôkyu Times

櫻丘タイムス「平成28年度教育フォーラム」特別号

平成 28 年 11 月 9 日

## 『芸術』から見る教育

### 中・高・大学生・教員による 意見発表・意見交換の実施



11月6日（日）、福島県立磐城桜が丘高等学校第1体育館にて福島県教育委員会主催による平成28年度教育フォーラムが実施された。今年度は「今、伝えたい・想いをかたちにする喜びを」をテーマに、様々なプレゼン・発表が行われた。

意見発表を行ったのは、各分野でそれぞれ独自の経験をしているいわき市内の学生及び教員だ。プレゼンのトップバッターは藤間中学校3年の鈴木雅大さん。いわき生徒会長サミットの活動や、長崎訪問についてプレゼンを行った。2人目の勿来第一中学校の大平茉奈さんは、報道委員会の積極的な地域広報活動について発表した。続いてはこの日のオープニングにフラの演舞を披露した、平商業高等学校フラダンス愛好会部長の渡辺真由さん。フラダンスの本場ハワイへの表敬訪問で感じたことを素敵なお笑顔で述べた。4人目はいわき明星大学吹奏楽団代表の滝本航太さんによる、地域の芸術交流の場を作る音楽活動についての紹介が行われた。最後にいわき総合高校の芸術・表現系列「演劇」の指導を行っている齋藤夏菜子先生より、どのような授業を行い、コミュニケーション能力や表現力を身につけていくのかという発表がされた。

この意見発表を通して、県内では、年齢を問わず多くの精力的な取り組みがされていることが分かった。

Column

## 芸術とは？ 表現とは？

基調講演「みちのくアート巡礼キャンプ  
の実践から考える芸術と表現」  
～相馬千秋先生



基調講演として、芸術公社代表理事で、アートプロデューサーの相馬千秋先生から芸術と表現についてお話しいただいた。相馬先生は、芸術に関心を持つ人々が東北地方の表現者のもとを訪れ、交流したことを元に表現のプランニングをする、「みちのくアート巡礼キャンプ」という企画を昨年から行っている。

この試みのまとめとして、相馬先生は、芸術・表現とは“答え”ではなく“問い”のままに構わないものであり、また曖昧さや様々な境界の揺らぎをそのまま表現できるものが芸術なのではないかと我々に語りかけて講演は終了した。

なぜ、教育フォーラムが今年はいわき市で行われたのか。

福島県教育庁教育総務課長の高橋洋平さんのお話によると、震災後初の浜通りでの実施で、震災の影響が一番大きかった地域において復興をどのように発信しているのか、このフォーラムを通して知るといった目的があったそうだ。

### 編集後記

このような新聞を作らせていただけて大変嬉しく思います。拙い文章ですが、これからの教育の発展の一助になれば幸いです。（佐藤 杏美）